

地域における 自殺対策推進のための ワークショップ

ー自殺の実態把握と対策の立案ー

研究代表者 **竹島 正** (一社)自殺予防と自死遺族支援・調査研究
研修センター(CSPSS) 代表理事

趣旨：日本の自殺死亡率は1998年に急増し、2006年の自殺対策基本法による施策の効果もあって2009年から減少に転じたが、2016年以降は減少が鈍化している。また、近年の小中高生の自殺の増加は大きな社会問題となっている。

一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター(CSPSS)は、自殺対策に関する調査研究及びその成果の活用等の推進により自殺対策の発展を図ること、自殺対策における学び合いと尊重の風土づくりを目的として、2020年2月10日に発足した。

CSPSSは、2023年度以降、自治体職員を対象に自殺対策基礎研修を年1回開催している。2025年度研修参加者144人のうち行政職員は96人で、ほぼすべての都道府県から参加があった。受講者へのアンケートでは、研修内容として「地域特性をふまえた自殺対策」「自殺対策の計画作成と事業評価」「自殺統計の見方・活かし方」「こどもの自殺予防」などへの関心が示された。自殺対策基礎研修は2026年9月3日に開催される。この研修の参加者を対象に、基礎研修の翌日(9月4日)に、地域における自殺対策の推進のためのワークショップを開催する。ワークショップは2026年度基礎研修の内容を学んだことを前提に行う。

2026年9月4日(金) 9:00-17:40

AP秋葉原 東京都台東区秋葉原 1-1
秋葉原ビジネスセンター 1F

開催方法：現地参加のみ

対象者：2026年度自殺対策基礎研修受講者のうち参加を希望する者50名

主催：(一社)自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター(CSPSS)

協力：全国精神保健福祉センター長会、全国精神保健福祉相談員会

後援：(一社)日本公衆衛生学会、(一社)全国精神保健福祉連絡協議会、(一社)全国自死遺族連絡会

問い合わせ：(一社)自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター(CSPSS)

共同研究集会担当 E-mail: cspss.kenshu@gmail.com

申込はこちら



<https://forms.gle/F55a4wzhdkgHzH1L8>

スケジュール

9:00	開会の挨拶 竹島正 CSPSS 代表理事
9:10	メッセージ 椿 広計 昭和女子大学理事長／自殺総合対策の推進に関する有識者会議会長 植松育子 日本司法書士会連合会自死問題対策部会副部長／うえまつ司法書士事務所代表 島田達洋 全国精神保健福祉センター長会副会長／栃木県精神保健福祉センター所長 田中幸子 一般社団法人全国自死遺族連絡会代表理事 齋藤真哉 全国精神保健福祉相談員会理事／埼玉県加須保健所 小川有閑 自死・自殺に向き合う僧侶の会／蓮宝寺住職
10:00	ワークショップ① 自殺統計の見方・活かし方 [企画・講師] 山内貴史 東京慈恵会医科大学環境保健医学講座 高橋邦彦 東京科学大学 M&D データ科学センター
11:30	レクチャー① 自殺の心理学的剖検について [講師] 小高真美 武蔵野大学人間科学部
12:00	レクチャー② 日本公衆衛生学会による大綱見直しの提言について [講師] 野村恭子 秋田大学大学院医学系研究科 社会環境医学系 衛生学・公衆衛生学講座 日本公衆衛生学会メンタルヘルス・自殺対策委員会
12:20	自治体情報：神奈川県における心のサポーター養成について [講師] 勝部 朗 神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課こころの未病グループ
12:35	昼食
13:30	ワークショップ② 学校における自殺予防教育に組織として取り組む基盤をつくる [企画・講師] 窪田由紀 北九州市スクールカウンセラー／(一社)福岡県スクールカウンセラー協会理事 シャルマ直美 北九州市スクールカウンセラー／(一社)福岡県スクールカウンセラー協会理事
15:30	ワークショップ③ 地域や自治体に自殺対策の評価組織・体制をつくる [企画・講師] 南島和久 龍谷大学政策学部、木下直美、島田達洋 川崎市における自殺対策評価委員会について 木下直美 川崎市健康福祉局障害保健福祉部精神保健課 地域の自殺対策は進んでいるかー精神保健福祉センターからみた現状と課題ー 島田達洋 栃木県精神保健福祉センター
17:30	閉会の挨拶 岡 檀 統計数理研究所